東海道五十七次
まだ知らないつぎの旅へ

東海道五十七次コラボウォーク

2026年10月17日(土)

大阪シティ信用金庫・枚方信用金庫・京都中央信用金庫・京都信用金庫・京阪ホールディングス・京阪電車共同開催

～高麗橋・水の都・大坂の歴史とにぎわいを巡る～

雨天決行
荒天中止

ゴール受付時間 14:00まで

ご注意 当ハイキングは、環境(SDGs)に配慮し、コース上に矢印ステッカーや案内ポスターを掲出しておりません。地図をご確認の上ゴールを目指して下さい。

ゴール周辺では中之島よりみちPROJECT開催中。その他中之島エリアでは様々なイベントが開催されているのでぜひお楽しみください。

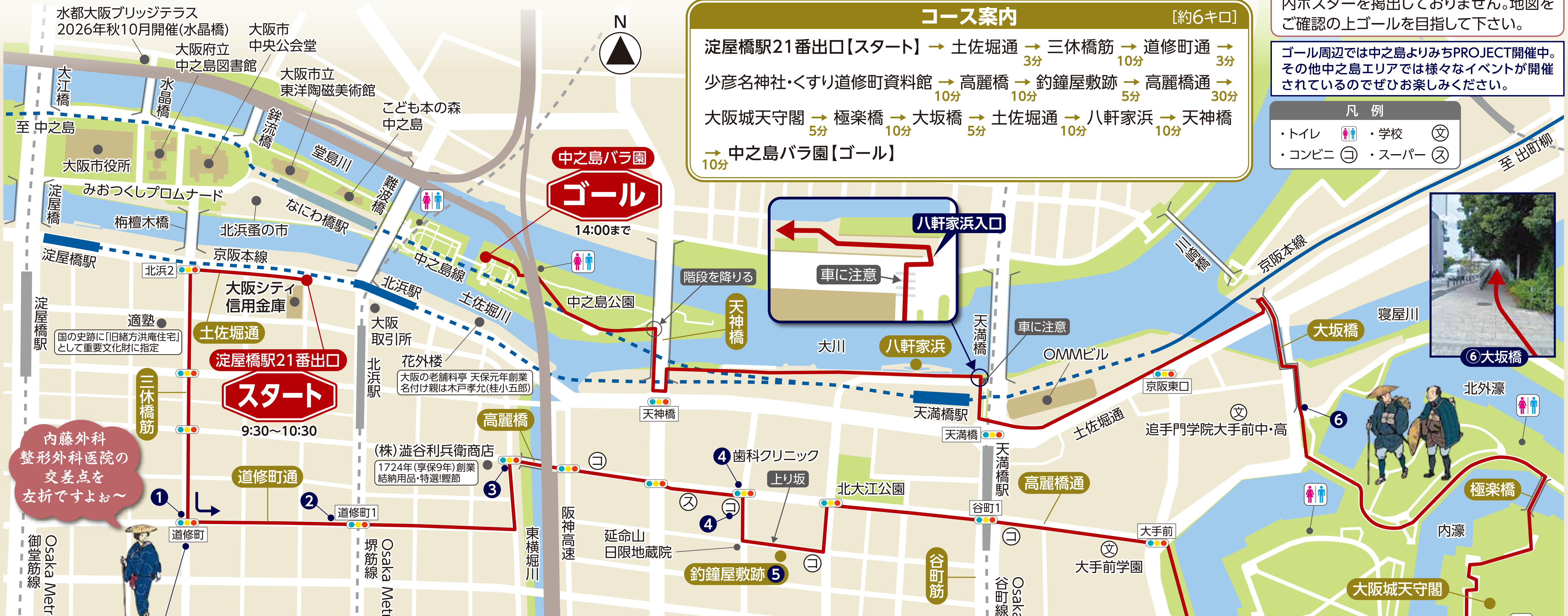
コース案内

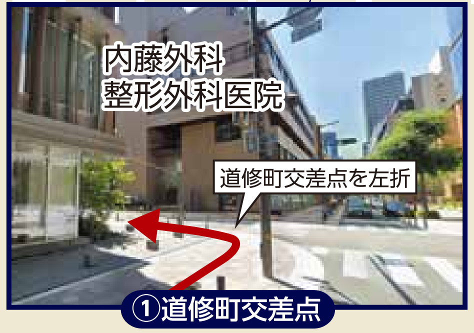
[約6キロ]

淀屋橋駅21番出口【スタート】 →(3分) 土佐堀通 →(10分) 三休橋筋 →(3分) 道修町通 →(10分) 少彦名神社・くすり道修町資料館 →(10分) 高麗橋 →(5分) 釣鐘屋敷跡 →(30分) 高麗橋通 →(5分) 大阪城天守閣 →(10分) 極楽橋 →(5分) 大坂橋 →(10分) 土佐堀通 →(10分) 八軒家浜 →(10分) 天神橋 →(10分) 中之島バラ園【ゴール】

凡例

・トイレ	🚻	・学校	㊫
・コンビニ	Ⓒ	・スーパー	Ⓢ





①道修町交差点

②少彦名神社(すくなひこじんじゃ)

「神農(しんのう)さん」の愛称で親しまれる少彦名神社は、日本の薬の神様「少彦名命(すくなひこなのみこと)」と、古代中国で医療と農耕を広めた「炎帝神農(えんていしんのう)」をお祀りしています。二柱の医薬の神を祀ることから、病気平癒や健康成就のご利益で深く信仰されています。

③高麗橋

江戸時代の大坂を代表する公儀橋の一つ「高麗橋」。周辺は豪商が立ち並ぶ活気ある商業地で、幕府の重要拠点・大坂城へと続く「東海道五十七次」の終着点でもありました。東西を結ぶ交通と経済の要所として、街道の旅を締めくくる象徴的な史跡です。

④コンビニ

④歯科クリニック

⑤釣鐘屋敷跡・釣鐘

「釣鐘町」の地名の由来となった釣鐘屋敷跡。江戸時代、徳川家光が大坂の土地税(地子銀)を永久免除したことに感謝し、町衆が寄付を募って作った釣鐘です。昼夜を問わず鐘を鳴らして町中に時を知らせていました。現在も朝・昼・夕の1日3回、美しい音色が響き渡っています。

緊急時の連絡先
080-7395-9096
10月17日(土)当日9:30～14:00のみ有効